



第四話 魔物出現



あつ、颯太くん…

うん？

あつ、真由さん

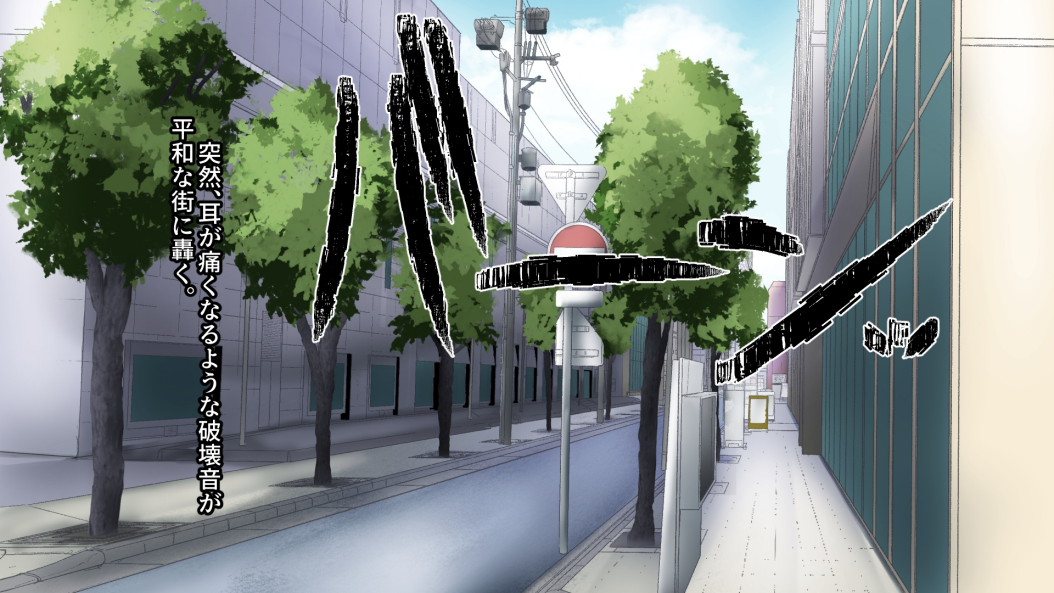


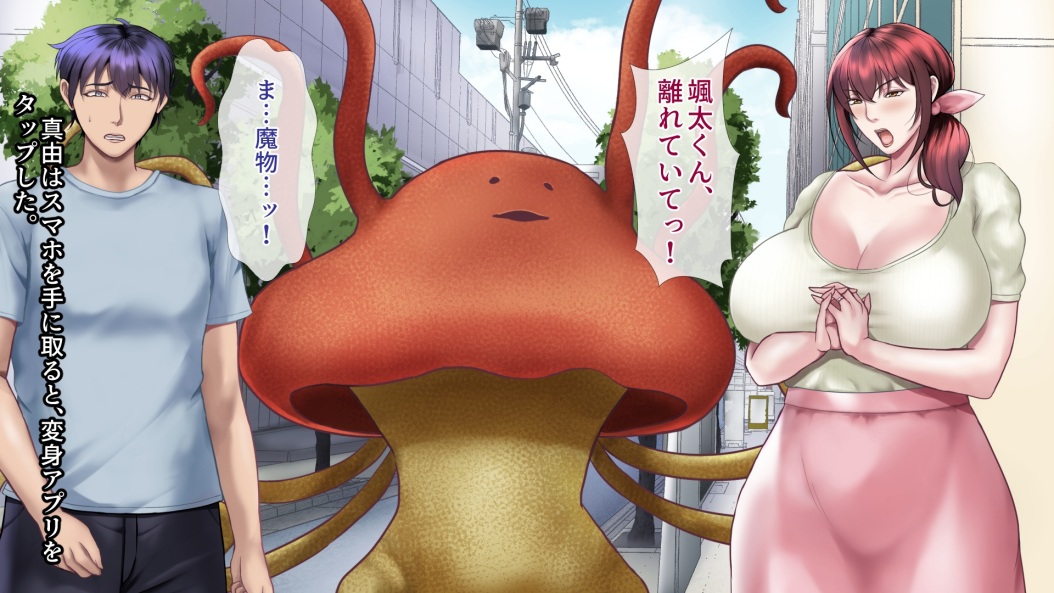
偶然ね…

そうですね。
買い物ですか？

ううん。
友達とカフェで
お茶していたの。
今帰りよ

突然、耳が痛くなるような破壊音が
平和な街に轟く。





颯太くん、
離れていてっ！

ま…魔物…ッ！

真由はスマホを手に取ると、変身アプリを
タップした。



ドキッと・スターライト!



ドキドキしながら
星に願いを



胸の高鳴りは
誰にも止められない

ドキッと・マユ!



魔物と対峙するドキッとマユ—が、

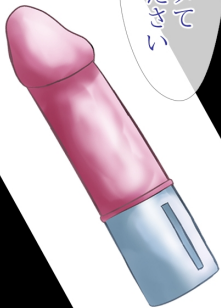


魔物に攻撃をしかけようとした
マユだったが、変身の副作用である
股間の疼きが今頃、起きてしまう――





くう…
人々を守るためには
今ここを
離れるわけには…



これをハメて
戦ってください



スツと颯太はマユに近づき耳元に囁く。



ちよつと...
ここは街中よ...

これで楽になると
思います



でも…

人々は今
避難しているとこ
こちらのほうを
見ている
余裕はありません



それにバイブを
入れないと
もうエッチして
上げませんよ

ちよっとっ！
ふざけないでっ！
今はそういうとき
じゃないでしょっ！



うう…
アナタね…

オレはいつだって
本気です。
真由さんのためです。
人々を守ることも
オレのチンポも
必要なんですよ？

マユは颯太からパイプを受け取ると
膣内に挿入していき――

くう……

魔物が暴れ出しましたよ。
さあ、早くっ！



再び魔物と対峙するマユ。



あ…ダメ…っ

今回の疼きは強烈でパイプだけではマシにならず——敗北！



触手に拘束され動くことができず
恐怖するマユ。

んぐっ…
離しなさい…

ゾク

ト

ト

プル

ゴ…

シニルル



体験版をお求めいただき、誠にありがとうございました。
続きは、製品版でお楽しみください。

なお、次のページ以降にございますのはサンプル画像です。
併せてご覧いただければと思います。

元魔法少女の人妻は今でも変身して戦うが



常時
パンチラ



陰毛
ハミ毛

変身スーツは当時のサイズのまま…
それでも変身ヒロインとして
今日も魔物と戦う

一つの過ちから始まる



息子の友達が目撃したのは
ヒロインのオナニー



口止めで関係をもつが

最中に変身解除となり

息子の友達に正体がバレてしまう

勃起は治まることなく

生セックス

連続射精

巨尻を連打

弱みを握られハメられ続ける

息子の友達ヒロインの熟したカラダを求め続け

ラに
かるわ…

うん？
しいけど
危ない

サポート役の妖精に隠れながら

尻コキ
生挿入

コなら大丈夫
他の人
言われていること
他人妻を

身バレしているヒロインは嫌々ながらも股を開く

ピュピュ

うら…やめなさい…

匂い立つ

貞由と頭太はゲームに夢中になっ
ていている純に聞こえない
騒ぐように話す。

豊満な尻を
愛でながら

せっかく
お会いできたんだし

息子のゲーム中に

お邪魔しています

デカ尻のアナルを
ガン見しながら

怠けて
陰毛処理せず

ズブッ

お尻も
すよ。
今日
しますか？

それだけはダメ…
お尻はするところ
じゃないわ…

「アソコの疼きなんて建前で
本当はドスケベな女なんでしょ？」



37歳のヒロインは息子の友達に調教され
開花されていく——

感じてる精液って
なに
かっただんだ！

酷い……
オマンコの中に
子種汁が
溢れ返っている……
きつと子宮まで届いたわ……
私は人妻なのよ……
息子や夫が
いるのよ……

容赦ない腔内射精で
アクメを極める

す……す
つい
ちの
で

家族が住む家で

情事にふける





「イケないことだと分かっているけど
我慢できない…」

もうスカートの下は
ビチヨビチヨ…
レオタードから
愛液が漏れ出している…

家の玄関の前で
羞恥プレイ

くても
ブなんです

恋人のように
抱き合い
ご褒美キス

「息子と同じ年齢なのに…
もっと虐めて欲しいと思ってしまう…」

魔物に敗北し辱められるが

熟したマンコは
魔物の劣情を煽る

腔内拡張

敏感になっているマンコは
触手姦でも感じてしまい
街頭で無様に喘ぎ狂う

刺激は何な

そして 肛虐の変態プレイに溺れ——

浣腸

アナル責め

肛門クンニ

アナル処女を

奪われる

肛門性交

腸内射精

淫乱な不倫妻に成り下がり——

オナラ

オシッコ

脱糞

身も心も 息子の友達に捧げ

墮ちていく——